広報誌第62号 冬号 2021年1月発行



特定医療法人 樟風会

早津江病院















Contents

◆ 院長挨拶

- ◆ 留学生の紹介
- ◆ 令和2年度 樟風祭
- ◆ 餅つき
- ◆ 第16回 早津江病院学会のお知らせ

Address

佐賀県佐賀市川副町福富827

TEL 0952-45-1331 FAX 0952-45-7334

E-Mail: hayatsue@shoufuukai.or.jp

URL http://shoufuukai.or.jp/hayatsue-hp/

早津江病院理念

博愛の心を持ち、躍動感に溢れた医療を実施する為に、ここ(早津江病院) に集い、われらの英知を傾けよう。

は:博愛 こころ 精神

や:躍動 活気ある病院 前向きな姿勢

つ:集い チーム医療 え:英知 創造 判断力

基本方針

*開かれた精神医療をめざすために、チーム医療の充実を図り、専門医療を確立する。

*精神障害者の偏見を取り除き、患者の権利・患者の尊厳を守り、患者中心の医療を実践する。

院長挨拶

明けましておめでとうございます。年末年始は 寒波の影響もあり、厳しい冷え込みとなりました。 ニュースでは大雪との予報が出ておりましたが、 幸いにも少量の積雪で済み、当院では大きなトラ ブルも無く、無事に新年を迎えることが出来まし た。

さて、昨年は異常気象や自然災害に加え、今なお続いております「新型コロナウイルス感染症」の対策と対応で大変な1年となりました。

しかし、2020年を振返ってみると、決して悪いことばかりではありませんでした。

一つは通常では関わりの少ない各機関との情報 共有や対策を協議する為のコミュニケーションが 増え、より連携を深めることが出来たことです。 結果として、他病院、他地域の現状を知ることに も繋がり、日常の診療にも活かせる大きなヒント を得ることが出来ました。もう一つはリモートワ 一クが浸透し、移動時間の短縮や負担の減少等に 繋がり、時間の管理や考え方に大きな変化をもた らしてくれたことです。これらは新型コロナウイ ルス感染症が終息したのちも継続的に実行してい き、様々な機関との連携や働き方改革の一助にな ればと期待しています。

今後、かつての日常に戻るのには相当な時間が かかりそうです。当院では、幸いにも地域の皆さ まを始め、日頃より当院をご利用されている



早津江病院 院長 松永 高政

皆さん、また対応に尽力している病院スタッフなど大勢の方々のお力添えもありまして「新型コロナウイルス感染症」を発症された方はいらっしゃいません。改めまして、当院の感染対策へご協力頂きましたことに感謝申し上げます。院内にウイルスを持ち込まない、広げない為にも皆さんのご協力が不可欠となります。ご不便をお掛けいたしますが、引き続き、感染防止対策にご理解とご協力をお願い申し上げます。

それでは、新しい年が皆さんにとって良い年になるよう祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

こようこそ! 留学生

特定医療法人樟風会では、多様な人材育成を促進するため、令和1年度より介護福祉士資格の取得を目指す外国人留学生を支援しています。

昨年は、佐賀女子短期大学日本語別科で学ぶミャンマーからの留学生2名の 支援を開始しました。この2人は今年度より地域みらい学科で勉学をしなが ら、当院で一生懸命アルバイトをしています。

令和2年度も佐賀女子短期大学地域みらい学科で学ぶミャンマーからの留学生1名の支援を予定していましたが、コロナ禍により来日が出来ず、現地と短大を結ぶリモート学習などで勉強していました。

なかなか来日出来ない事に留学生本人・法人職員共々、もどかしい思いをしていましたが、令和2年10月1日(木)から留学の資格を持つ学生の入国が順次許可されるようになり、令和2年11月26日(木)に来日、令和2年12月14日(月)から佐賀女子短期大学に通学しています。

これからは、昨年より支援している2人と共に勉学しながら早津江病院でアルバイトを行い、卒業後には当法人に就労してもらう予定です。

今年度(令和2年度)、支援する留学生は下記の学生さんです。 ミャンマーで日本のアニメ等も見ていたことから、日本語も堪能です。 皆さん、「ジュ・ジュさん」と声をかけてあげて下さい。よろしくお願い致します。



JUE JUE(ジュ・ジュ)さん

皆さん、こんにちは。ジュ・ジュと申します。

出身地はミャンマーのヤンゴンです。

最初に申し上げたいのは、私の来日を早津江病院が支援して下さり、本当に有難うございました。コロナの影響でなかなか日本に来られなかったのですが、皆さんが快く迎えてくれてとても嬉しかったです。私にとって病院で働く事は初めてなのでとても緊張しますが、知らない事や分からない事も丁寧に教えて頂き、本当に感謝しています。自分には、まだ足りない部分もたくさんあると思いますので、頑張っていきたいと思っています。学校も仕事も頑張り、たくさんの人の役に立ちたいです。宜しくお願い致します。

令和2年度 樟風祭



今年度の樟風祭は新型コロナウイルス感染症の影響により、三密を避けるため病棟毎の開催となりました。例年の様にボランティアの方々による出し物やバザーといった大々的な催し物は出来ませんでしたが、各病棟のスタッフー同で試行錯誤して制作物の展示や樟風祭動画上映会、茶話会などを行い、患者さんには好評でした。

実際に同じ空間で樟風祭を楽しむことはできませんでしたが、樟風祭動画を通じて他の病棟の制作物や制作風景をご覧になられて、樟風祭の思い出を共有して頂けたのではないかと思います。

各病棟等からの感想



東2病棟

ビデオ鑑賞を行い、自分の病棟の作品に関して集中して鑑賞されているだけでなく、他の病棟の作品や患者さんの作品も見て頂くことができ、有意義な時間となりました。お菓子の詰め合わせを受け取られる時や召し上がられる際に談笑する姿や笑顔が多くみられました。

新型コロナウイルス感染症の影響で例年のイベントが開催できなかった事、長期入院生活を送られていて少しでも楽しく過ごしてもらうという広報の目的で今回は茶話会を通して交流を深めることが出来ました。とても好評だったことが何よりでした。



東1病棟



西3病棟

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、病棟内で 色々な所属の作品・作成過程をビデオで鑑賞し、茶話会を 行いました。新しい形に戸惑いは見られましたが、満足し たとの声が多く聞かれました。 今年は新型コロナウイルス感染症の影響で病棟単位での樟風祭となり、 映像での紹介となりました。樟風祭では昔なじみの顔が映ると歓声が上 がり、また、自分の作品に見入っておられました。来年は皆さんと触れ 合うことが出来る樟風祭になるよう願っています。



西2病棟



美味しいおやつを食べた後に DVD 鑑賞をしました。 自分たちの作品や作品の制作風景、他の病棟の作品もムービーで見られて 良かったです。

ゆりの木

今年は新型コロナウイルス感染症により、通常の樟風祭は残念ながら行うことはできませんでしたが、デイケア内で各曜日、少人数に分けて感染に気を付けながら実施する事となりました。なかなか楽しみも制限されてしまう日々ですが、少しの時間でも非日常的な機会を皆様に楽しんでいただけたのではないかと思います。



デイケア

餅つき







令和2年12月28日(月)に早津江病院の中庭で恒例の餅つきが行われました。

毎年職員・患者さんたちが参加し一緒にお餅をついて交流を深めていましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症予防、そして三密を避けるために少人数・短時間で各病棟の時間をずらしての開催となりました。

出来たお餅は早津江病院内の飾り餅としたり、その場で大根おろしと一緒に試食したりして、 とても楽しい時間を過ごすことができました。

第 16 回 早津江病院学会 開催について

早津江病院教育委員会主催による、第 16 回早津江病院学会を下記の日程にて開催いたします。

テーマは「精神科における急性期医療"現在"と"これから"」とし、一般演題8題、特別講演1題を予定しております。

↑第16回早津江病院学会

◆開催日時: 令和3年2月27日(土)13:30~

◆会 場: 佐賀市中川副公民館

(住所: 佐賀市)[副町大字早津江27-1 TEL: 45-4173)

◆主 催: 早津江病院 教育委員会

◆テーマ: 『精神科における急性期医療"現在"と "これから"』

≪一般演題≫ 8演題

※当院 医師・看護師を中心に発表致します。

≪特別講演≫ 1演題

演者 国立病院機構 肥前精神医療センター 統括診療部長 村川 亮 氏





第15回早津江病院学会風景